

平成 26 年度生田緑地モニタリング開催報告

担当 明治大学 倉本 宣

1. 開催概要

日時：平成 26 年 11 月 22 日（土）10：00～12：00

参加者数：15 名

行程：整備事務所にて今回のモニタリングの主旨の説明後、現地にてみどりの保全整備課による説明と意見交換を行った。

2. 開催目的

立場の異なった会員同士が、立場に関係なく自由に発言し、生田緑地の自然の取り扱いについての合意を得る場として設定した。生田緑地で行われた整備工事の一つを事例として取り上げ、現地で現場を見ながら議論する会とした。



図：説明資料



写真：開催の様子

3つの視点について合意が得られた。

- ・雨水の集水の方法 生田緑地では湧水が減少しているにもかかわらず、U字溝に集まった雨水を斜面の下部に排水している。雨水を浸透させるなど、湧水を保全する工法を工夫したい。
- ・しがら工の今後の管理 しがらは通常は分解するものだが、この工事で用いたしがらはプラスチックで分解しない。溜まった落ち葉をどうするかは課題であるとの認識は一致したが、解決策はだせなかった。
- ・園路際にあった花の咲く低木の伐採について 事後調査を公園整備事務所が行い、対策の必要性をみきわめる。

3. 今後の展望

生田緑地で施工された工事を立場を越えてみることを通じて、共通の認識を持つことで、生田緑地らしい工事がみつかるのではないかと期待を持てる会であった。これまでの行政と市民の対立という構図を越えて、活動を完成化するために、今後も1年に1回程度は開催する予定である。